

特殊詐欺対策の現状と課題を問う

神奈川県警が2021年に認知した特殊詐欺の件数（1月末時点の暫定値）は、前年比312件減の1,461件となり、2年連続で減少し、被害総額は約8億3,200万円減の約25億5,900万円となり3年連続で減少しており、全体の件数や被害総額は減少傾向にはある。

一方で、還付金名目のうその電話でATMを操作させて現金をだまし取る「還付金詐欺」の被害が急増しているという。

また、手口別の内訳では、親族などをかたる「おれおれ詐欺」が52件増の466件（被害額約12億2,300万円）と最多であり、被害件数の3割、被害額の5割近くを占めている。

なお、特殊詐欺の被害者の約9割は70代以上の高齢者となっている。

そこで、以下の点について町の見解を伺いたい。

- 1 本町の特殊詐欺の被害額及び被害件数の推移（直近3年間）と分析は。
- 2 本町の特殊詐欺対策の現状と課題は。